令和４年度公立大学法人島根県立大学当初予算の概要

Ⅰ　予算編成の考え方

令和４年度は、第３期中期計画期間（令和元（2019）年度～令和６（2024）年度）のうち、改革実施期間の２年目にあたり、理事長の強いリーダーシップの下での機動的・戦略的な大学改革を着実に推進していく必要があります。

令和３年度に設置した魅力化推進本部のもと、大学の魅力化に取り組みます。令和４年度から「島根を創る人づくり事業」を実施し、高大連携、地域貢献、学生の県内就職に対する支援を強化します。
また、新型コロナの影響が長期化する中、引き続き、感染拡大の防止と学生の学修機会の確保を図る必要があります。このため、学内の感染防止対策、感染状況に応じた遠隔授業への対応、授業料減免等の経済的支援を継続して行います。

一方で、設立団体である県からは年間約50百万円程度の経営努力を求められており、経費節減や事務事業の見直し、人件費の抑制等により自己財源の充実や運営経費の抑制に努め、大学運営の健全化を図る必要もあります。

このため、既存事業のスクラップ・アンド・ビルドを徹底しつつ、新型コロナへの対応に引き続き取り組むとともに、大学の魅力化、島根を創る人づくりといった施策を重点的に実施する予算として編成しています。

Ⅱ　当初予算の概要

１．事業費総額

事業費総額は38億58百万円で、「島根を創る人づくり事業」の開始等の影響により、前年度予算（38億42百万円）に比べ0.4%の増（16百万円）となっています。

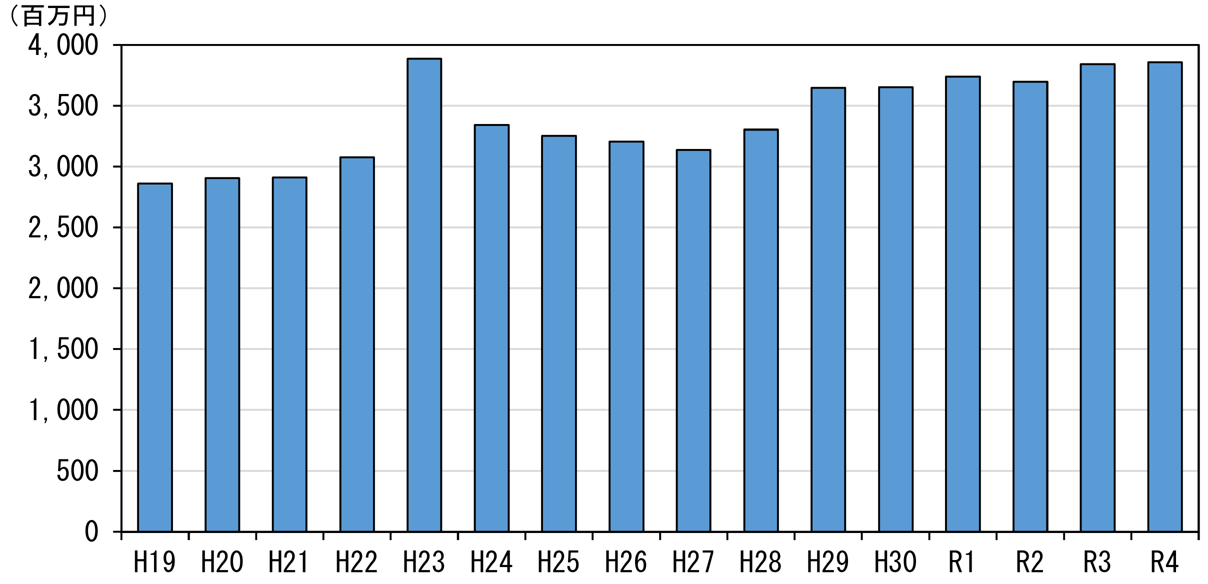
（単位：千円）

区　分	R4当初	R3当初	増　減	増減率
予算規模	3,857,624	3,842,005	15,619	0.4%

【参考】予算規模の推移　（単位：百万円）

H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4
2,860	2,907	2,911	3,077	3,885	3,342	3,253	3,206	3,139	3,305	3,649	3,655	3,742	3,697	3,842	3,858

※H25、R1は補正後額



２．収入予算

（単位：百万円）

区　分	R4当初		R3当初		増　減	増減率
	予算額	構成比	予算額	構成比		
運営費交付金(退手除)	1,913	49.6%	1,914	49.8%	▲1	▲0.1%
学生納付金	1,271	32.9%	1,281	33.3%	▲10	▲0.8%
外部補助金等	38	1.0%	29	0.8%	9	31.0%
寄附金	38	1.0%	33	0.9%	5	15.2%
その他収入	67	1.7%	69	1.8%	▲2	▲2.9%
計	3,328	86.3%	3,326	86.6%	2	0.1%
運営費交付金(退手)	74	1.9%	137	3.6%	▲63	▲46.0%
県補助金	303	7.9%	309	8.0%	▲6	▲1.9%
積立金取崩収入	153	4.0%	70	1.8%	83	118.6%
合　計	3,858	100.0%	3,842	100.0%	16	0.4%

※端数調整の関係で増減率が一致しない場合がある

〇運営費交付金が全体の50%を占めています。

〇運営費交付金（退手除）は、入学検定料や財産貸付料の減に伴う増の一方、令和３年度人事委員会勧告の影響による減等により1百万円の減額となっています。

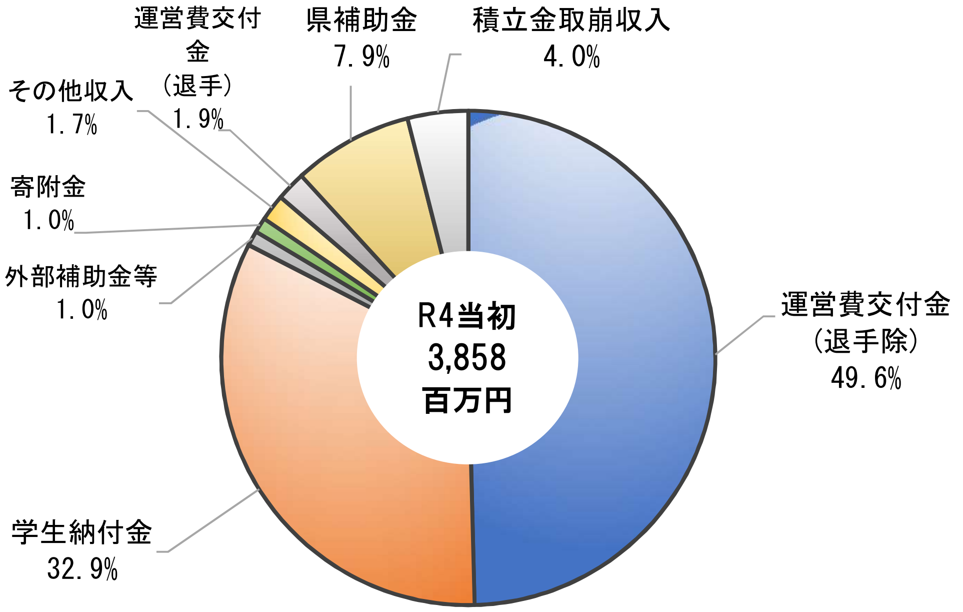
〇学生納付金は、学生数の減による授業料収入の減や入学検定料の減等により、10百万円の減額となっています。

〇外部補助金等は、出雲キャンパスにおける県受託による認定看護師養成事業(感染管理分野)の実施による増等により9百万円の増額となっています。

〇寄附金については、R3年度に大学として制度創設した「しまねの未来を担う人財奨学金（未来ゆめ基金事業）」の本格実施等により5百万円の増額となっています。

〇積立金取崩収入は、目的積立金を財源として実施する事業に充てるための収入として計上します。「しまねを創る人づくり事業」や松江キャンパスの外壁改修工事の実施等の影響により、83百万円の増額となっています。

※目的積立金充当事業…教育向上、学生支援、研究支援、学生確保、環境整備等に資する事業



３．支出予算

（単位：百万円）

区　分	R4当初		R3当初		増　減	増減率
	予算額	構成比	予算額	構成比		
教育経費	359	9.3%	383	10.0%	▲24	▲6.3%
研究経費	150	3.9%	149	3.9%	1	0.7%
教育研究支援経費	158	4.1%	152	4.0%	6	3.9%
人件費（退手除）	2,409	62.4%	2,371	61.7%	38	1.6%
一般管理費	578	15.0%	523	13.6%	55	10.5%
施設費事業	79	2.0%	68	1.8%	11	16.2%
受託事業　等	46	1.2%	49	1.3%	▲3	▲6.1%
予備経費	5	0.1%	10	0.3%	▲5	▲50.0%
計	3,784	98.1%	3,705	96.4%	79	2.1%
人件費（退手）	74	1.9%	137	3.6%	▲63	▲46.0%
合　計	3,858	100.0%	3,842	100.0%	16	0.4%

※端数調整の関係で増減率が一致しない場合がある

○教育経費は、「しまねを創る人づくり事業」の開始や「しまねの未来を担う人財奨学金」の本格実施、新型コロナ対応のための検査経費等による増要因がある一方、遠隔授業に係る修学支援給付については、感染状況に応じて対応を検討すること、また、県補助による授業料減免の対象者数が減少したこと等の影響により24百万円の減額となっています。

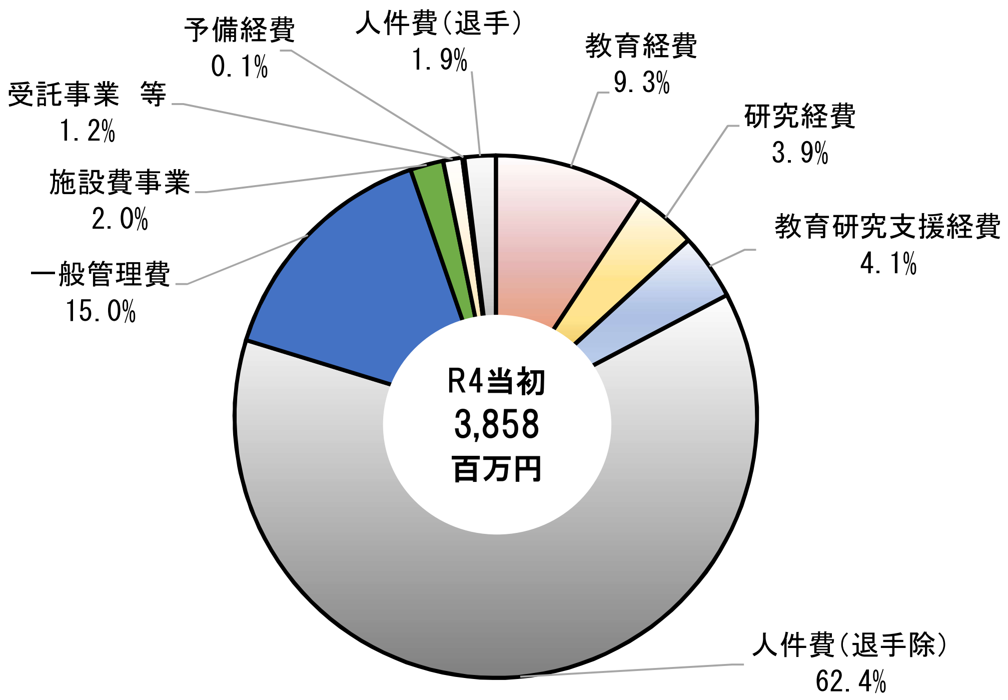
○教育研究支援経費は、講義室の映像音響機器更新等の影響により6百万円の増額となっています。

○人件費（退手除）は、人事委員会勧告を受けた給与改定に伴う減要因がある一方、職員の昇任基準の見直しや非常勤職員の処遇改善等により、38百万円の増額となっています。

人件費の上昇は今後も続くと見込まれるため、人件費の抑制に向けた検討も今後の重要な課題です。

○一般管理費は、ホームページのリニューアル事業や松江キャンパスの受変電設備更新工事及び外壁改修工事等により55百万円の増額となっています。

○予備経費は、近年の執行実績を踏まえつつ、新型コロナウイルスへの対応を含めた年度途中の緊急的な支出に備え5百万円を計上しています。



１．重点項目

（１）県民からの期待に応える存在意義の高い大学

①学長裁量事業（法人本部）〈継続〉　41,000 千円

・令和３年度の魅力化推進本部の設置やしまね地域国際研究センターの新設に併せて整理した枠組みを継続し、大学の魅力化を進める。

項目	内容	金額(千円)
裁量枠	各Ｃの特性に合わせた魅力化推進事業経費として配分	4,500
学長戦略枠	しまね地域国際研究センターのプロジェクト研究費等	3,640
若手支援枠	将来的に本学の研究を担う若手研究者へ配分する研究費	12,000
地域貢献奨励金	学生の地域貢献推進奨励金	5,000
魅力化推進本部 運営経費	大学の魅力化に向けた制度構築や事業を実施 （広報、IR、入試改革・高大連携　等）	10,160
その他	出版助成、予備費　等	5,700

②まちづくり研修事業（浜田Ｃ地域政策学部）〈新規〉　2,400 千円

・地域政策学部２年生を対象とした国内のまちづくり先進地への研修に対する支援を行う。

（２）地域に貢献する人材を輩出する大学

①島根を創る人づくり事業(全Ｃ)〈新規〉【（１）①の一部再掲含む】(詳細別紙)　17,961 千円

・「島根（県大）で学ぶ学生を増やす事業」「島根を学ぶ学生を増やす事業」「島根で就職する学生を増やす事業」を３本柱として事業を構築。

・高大連携の強化、地域貢献の推進、県内定着の促進といった「島根を創る人づくり」を強力に進める。

②しまねの未来を担う人財奨学金（法人本部）〈継続〉　4,500 千円

・島根県立大学未来ゆめ基金を活用し、県立大学の学生の県内就職を支援するため、R3年度に奨学金制度を創設。

・選考された学生10名（浜田4名、出雲2名、松江4名(四大部2名、短大部2名)）に対し、年間25万円の奨学金を給付する。

③地域貢献奨励金（法人本部）〈継続〉【（１）①の一部再掲】　5,000 千円

・学生の広域な地域貢献活動を促進するため、活動費に対する支援を行う。

④しまね産学官人材育成コンソーシアム事業(法人本部)〈継続〉【(２)①の一部再掲含む】　6,197 千円

・県内就職促進に向け、県内教育機関と県等により設立されたコンソーシアムの枠組みの下、企業と連携した教育プログラムの実施やしまね大交流会の開催等の取組みを引き続き実施する。

（３）地域が抱える諸課題に対応する研究及び教育を重視する大学

①認定看護師養成事業（出雲Ｃ）〈新規〉　14,422 千円

・熟練した看護技術と知識を用いた水準の高い看護を行うことのできる看護現場のスペシャリスト「認定看護師」の養成事業を島根県からの受託事業により実施する。

・医療現場等における感染対策に中心的な役割を果たす人材の育成のため、教育課程「感染管理分野」をR5年度に開講することとし、R4年度は開講に向けた準備を行う。

②しまね地域国際研究センター事業(法人本部)〈継続〉【(1)①の一部再掲含む】　4,640 千円

・島根県が抱える地域及び国際的な課題に関する研究支援。研究成果を地域に還元するとともに自治体や県内企業等の各機関との連携強化を図る。

③診療看護師（ＮＰ）及び助産学領域の設置（出雲Ｃ）〈継続〉 6,281 千円

・出雲キャンパス大学院看護学研究科博士前期課程に令和２年度より診療看護師（ＮＰ）プライマリケア及び助産学領域を設置。在宅医療を支える人材及び専門性の高い助産師を養成する。

④入学料授業料減免制度（全Ｃ）〈継続〉 130,660 千円

・国の高等教育修学支援制度による入学料・授業料の減免実施のほか、国制度の対象外となる大学院及び別科に対しては県立大学の支援制度を実施する。

⑤学生利便性向上施設整備費（法人本部）〈継続〉 5,000 千円

・学生の利便性を高める施設・設備を整備するため、利用頻度の高いトイレの洋式化又はシャワー便座化を進める。

（４）国際交流、海外留学等の促進

①海外留学等支援事業（全Ｃ）〈継続〉 1,586 千円

・島根県立大学未来ゆめ基金を原資として、学生が自ら企画する海外での活動に対して助成し、学生の海外渡航を支援するとともに、自ら考え行動する体験機会を提供する。

②海外留学・海外研修等に係る奨学金（全Ｃ）〈継続〉 12,910 千円

・本学の特色である「国際的な視野を持った人材養成」実現のため、学生の海外留学、海外研修等に対する支援の強化を図る。

③短期国際交流（法人本部）〈継続〉 560 千円

・マレーシアにあるマラヤ大学において、現地学生と協働学習し多文化共生力を育成するため、短期海外体験プログラムを実施する。

２．その他項目

（１）一般広報及び入試広報

①大学ホームページリニューアル事業（法人本部）〈新規〉 10,208 千円

・受験生等の閲覧者にとって、見やすく・わかりやすいホームページへリニューアルを行う。デザインやページ構成を見直すとともに、更新しやすい管理システム（CMS）へ切替えを行う。

②新聞・テレビ等を活用した広報事業（法人本部）〈継続〉【（１）①の一部再掲】 6,550 千円

・新聞やテレビ番組等を活用し、広く大学の魅力をＰＲする。

③ＷＥＢオープンキャンパス特設サイト（法人本部）〈継続〉 341 千円

・新型コロナ対策として令和２年度に実施したＷＥＢオープンキャンパスを継続して実施する。対面形式との併用を図り、本学志願度の向上やミスマッチの軽減に繋げる。

（２）その他

①松江キャンパス２号館外壁改修工事（松江Ｃ）〈新規〉 51,370 千円

・外壁劣化診断により、外壁の落下等の危険性が高い箇所が複数判明したため修繕工事を行う。

②新型コロナウイルス対応事業（法人本部）〈継続〉 29,138 千円

・感染防止対策と学修機会の確保を両立するため、県補助金を活用した授業料減免や講義室の天井扇を整備する。また、実習等の際に学生が使用するためのPCR検査キットの整備等を行う。

③おはなしレストランライブラリー事業（松江Ｃ）〈継続〉 6,765 千円

・授業での実践的な学びの場として、地域住民への絵本の貸出、学生による絵本の読み聞かせ活動などを実施する。

〔R4当初〕島根を創る人づくり事業一覧

別紙

（単位：千円）

no	対象	事業名	新規/拡充	事業概要	R4当初予算額
	島根（県大）で学ぶ学生を増やす事業　≪広報・入試・高大連携≫				**7,469**
	高校との連携事業				2,394
1	全学	KENDAI未来アトリエ	新規	○本学に関心がある高校生を取りこぼさないよう、進路選択を継続的に支援するため4カ月程度の複数講座（対面・オンライン）を実施。 ○ミニ講義、社会人との交流等、県大の魅力を知り、未来への夢を描ける進学先として意識され、選択される内容を構築。	966
2	全学	バーチャル国際交流事業	拡充	○オンラインの国際交流を本学が連携する県内高校とともに実施。 ○海外協定校、本学卒業生、留学体験者、グローバルに活躍する著名人等を講師として招聘。	300
3	全学	外国語スピーチコンテスト	新規	○本学が連携する県内高校の生徒を対象に、外国語スピーチコンテストを開催。 ○上位者に本学の海外研修への同行参加権と海外研修費用相当額の奨学金を授与。	200
4	全学	大学訪問イベント事業	新規	○教員による模擬講義の開催や学生が開発に携わった商品の紹介等により、高校生に県大の学びの魅力をPR。 ○高校生の進路に影響力を持つとされる保護者も含めて参加してもらう。	296
5	全学	図書館イベント事業	新規	○本学図書館を高大連携のひとつの拠点として捉え、高校生と大学生の交流、トークイベント、ゲスト招聘によるイベントを実施。（年２回）	334
6	全学	課題研究指導研修会	新規	○高校生の課題解決型学習の指導方法について本学教員から高校教員への研修会を実施。	38
7	出雲	健康寿命延伸プロジェクト inますだ	新規	○県西部地域の高校生の管理栄養士への関心・理解を深めるとともに、健康栄養学科をPR。 ○大学、県栄養士会、行政が協働・連携して実施する「健康寿命延伸プロジェクト観光な食環境づくり事業」の成果報告会を益田で開催し、高校生も参加。	220
8	出雲	高大共育型 入学前理系教育のススメ	新規	○大学入試共通テストを課さない入試区分による学生(35名／定員80名)に対し、入学前の期間中に、理系教育の強化と大学のディプロマポリシー等の理解を図る。 ○高校と連携して入学後にスムーズに大学の学びに入れることを県内高校生へPR。	40
	大学の独自事業				5,075
9	全学	連携校推薦等入試制度PR事業	新規	○学校推薦型選抜（連携校推薦）出願者の「連携活動」（浜田C・出雲C）の参加に要する交通費・宿泊費相当額を支援。 ○受験しやすい環境づくりと連携校推薦その他の入試制度をPRし、多くの人材の入学を促進。また、短大部名称及びカリキュラム変更についてのPRを実施。	600
10	全学	WebDMによる情報発信事業	新規	○入試情報アプリ「スタディサプリ」において、ターゲットとする県内高校生に対して大学情報のDMを配信。オープンキャンパスや出願前等の効果的なタイミングで実施。	550
11	全学	高大連携協力学生促進事業	拡充	○県内高校の大学訪問について、施設見学や学生・高校生との交流等のイベントへの企画・運営等に学生が参加。学生目線を多く取り入れ、高校生との交流を促進することにより、高校生にとってより興味深く充実した高大連携活動を実現。	300
12	全学	高大連携担当職員の配置	新規	○「人づくり事業」の実施期間中に必要な高校との諸調整等にあたる担当職員を配置	2,345
13	出雲	県立大発！地元未来創生プロジェクト≪高校生学習支援サイト≫	拡充	○出雲Cの就職支援WEBサイト「就職オンラインマルシェ」に、高校生学習支援サイトを追加。テーマごとの講座、レポートの書き方など、高校の要望を取り入れ構築。 ○本学の学びに対する理解を深めるとともに、地元企業や病院への愛着を形成。	1,280
	島根を学ぶ学生を増やす事業　≪地域貢献推進・フィールドワーク≫				**6,876**
14	全学	大森まちなか図書館における 実践型教育推進事業	新規	○R4年度開設の「大森まちなか図書館」（大田市大森町旧松原邸を改装）を拠点とした地域貢献活動と学生への実践的教育を推進。 ○まちライブラリーの運営を学生の有償就業体験と位置づけ、カウンター業務や各種イベント等を実施。また、 図書館を拠点とした授業やゼミ活動も展開。	4,500
15	出雲	「島根の地域医療」における県西部を主としたフィールドワーク新設	拡充	○看護栄養学部2年次の必修科目「島根の地域医療」のフィールドワークに、県西部の医療機関を追加し選択幅を拡大。 ○県西部の地域医療における課題や県内の医療の偏在等の実態をより深く学ぶ。	482
16	松江	観光まちづくり事業	拡充	○地場産業とこれに関連する街並みを生かした「観光まちづくり」に取り組む出雲市平田町におけるフィールドワーク。地域を知り、課題解決力を育むとともに、活動の成果を地域に提言。	268
17	松江	こどもの読み書き・学習支援による地域貢献事業	拡充	○読み書きに困難を抱える児童に対して学生が学習支援を行うことにより、支援スキルの向上を図るとともに地域貢献を推進。	319
18	松江	ミライキッズ山陰プロジェクト/ こどものだいがく事業	新規	○「ﾐﾗｲｷｯｽﾞさんいん実行委員会」と連携・協働し、健やかな島根の子どもを育てるためのイベント（年3回）や、地域の子どもたちが大学で学び楽しむ体験イベント「こどものだいがく」（年2日間）を開催。	1,307
	島根で就職する学生を増やす事業　≪キャリア支援・インターンシップ≫				**3,616**
19	全学	官民トップ人材による講演事業	新規	○民間企業又は公務で活躍する人材を招き、地域で働くことに関する講演を実施。学生の県内就職に向けたモチベーションを向上。	500
20	全学	低学年向けバスツアー事業	拡充	○低学年時（1,2年生）へのキャリア支援の充実のため、企業見学バスツアーを実施。	565
21	浜田 松江	低学年向けキャリア支援拡充事業	新規	○低学年時（主に2年生）へのキャリア支援の充実のため、各種のイベントを開催（委託）。 ○県大の先輩や卒業生から就活を含めた大学生活後半の過ごし方や、県内の複数企業の社員から仕事のやりがいや求める人材などを学ぶ。	1,630
22	出雲	県立大発！地元未来創生プロジェクト≪オンラインマルシェ・魅力発見インターンシップ≫	拡充	○看護栄養学部3・4年生を対象とした「しまね就職オンラインマルシェ」に県内複数の医療機関等が参加。学生と交流し、職場の紹介や採用情報を共有。 県西部・山間・離島地域の医療機関等へのインターンシップを実施。	662
23	松江	キャリアルームの機能拡充	新規	○松江Cキャリアルームに企業PRブースを設置し、詳細な企業情報を掲示・放映。求める企業情報を学生が入手しやすく、企業が魅力を学生に伝えやすい環境を整備。	259
24	全学	長期(有償型)インターンシップ	拡充	○令和3年度から体験先を1者追加し、3者で実施。 ○令和4年度から島根電工株式会社の協力を得て、新たにプロジェクト型インターンシップ（県大広報室プログラム）を実施。 【令和3年度の体験先】株式会社ジュンテンドー（H30～）、 一般社団法人イワミノチカラ（R元～）、ＮＰＯ法人てごねっと石見（R3～）	／
	合　計				**17,961**